

事業番号	1	事業名	産学連携による実践型人材育成事業
------	---	-----	------------------

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

- 事業評価が的確に行われていないので、成果が国費投入にふさわしいものかどうか判断できなかった。よって、各事業の定量的・数値的評価基準が構築されるまで、一旦、すべての事業を廃止して再検討すべきである。
- 国費を投入した事業としての意味が理解できない。
- 通常の大学の任務に含まれており、国費をつぎ込むことは必要ない。
- 成果の把握が不完全。
- 成果の共有が不十分。
- 評価方法について十分研究する必要がある（文科省としてどのような視点で評価するか）。
- 案件の進捗状況の把握、成果、フォローアップ体制など改善する必要がある。
- 長期インターンシップでは、5年間の支援期間があるが途中でプログラムの状況や参加人数をチェックして、支援資金を調整すべきである。
- サービスイノベーション人材育成について慶応大学と東京工業大学でプログラム認定者の率が低い。これを上げるべきである。
- いずれの事業についても、パイロットプランとして他の大学が実際に活用できるようアウトプットのあり方を文科省として明確にし、採用大学に指示されるようにすることが必要である。

評価結果

廃止

見直しの余地なし	0名
要改善	4名（事業内容2名、その他2名）
廃止	4名

（注）要改善の（ ）書きは改善内容を示し、複数選択を可能としている。

とりまとめコメント

本事業については、廃止4名との結果を踏まえ、廃止という結論とし、第一に、事業のアウトカムの検証や評価の考え方や基準を確立し、検証・評価をしっかりと行う、その上で、評価の高いプログラムの普及・活用を図るべき、第二に、産学連携のための長期インターンシップの実施やプログラムの開発は、そもそも大学教育の本来業務であり、大学の経常経費で行えるよう大学の教育活動の強化や、基盤的経費のあり方も含めて検討をするべき、というまとめにしたい。